

# ぼうはん栃木

発行

(公社) 栃木県防犯協会

栃木県風俗環境浄化協会

宇都宮市今宮4-14-5

電話 028(659)3 0 4 5

FAX 028(659)3 0 8 9



撮影場所 野木町

**青少年の非行・被害防止全国強調月間**

**7月1日(金)～7月31日(日)まで**



「防犯マスコット」  
©SUSUMU MATSUSHITA ENTERPRISE



風俗環境浄化協会  
シンボルマーク

No. 167号

**みんなで つくろう 安心の街**



# 「青少年の非行・被害防止全国強調月間」

七月一日(金)～七月三十一日(日)

毎年七月は、「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です。

平成二七年中の県内における非行少年の検挙・補導人員は五四四人(前年比一五六人減)と六年連続で統計史上最少を更新し、少年非行が多かった昭和六〇年ころの約一〇分の一となっておりま

す。非行少年が大きく減少した要因として、少年警察ボランティアや県市町等の関係機関と協働した健全育成活動、学校と連携した非行防止教室等の取り組みを地道に続けてきた成果が現れたもので、特に万引きや自転車盗などの「犯罪の入り口」となる初発型非行が減少していることが挙げられます。

しかし、少年非行の九割を占める刑法犯少年の検挙・補導人員における再犯率が三〇%を超えること、コミュニティサイトに起因する児童売春や児童ポルノなどの性犯罪の被害に遭う少年が後を絶たないなど、依然として厳しい状況にあります。

このため、夏休みを迎え、解放感から少年たちの気が緩みがちになるこの時期に、家庭、学校、地域及び警察が一丸となり、青少年の非

行・被害防止に取り組む必要があります。警察では、「非行少年を生まない社会づくり」を目指し、県民の皆様方と連携して、次の取り組みを推進して参りますので、ご協力をお願いします。

## ①広報啓発活動の推進

県民の皆様方が、青少年の非行・被害防止、健全育成及び有害環境の浄化等に取り組んでいけるよう広報啓発を推進します。

## ②有害環境浄化活動の推進

青少年を有害情報から守るため、児童が使用する携帯電話・スマートフォン等のフィルタリング導入や家庭での携帯電話等利用のマナー向上を目指します。また、事業者等に対して、未成年者への酒類・たばこ販売等の防止、青少年の深夜立入制限の要請等、青少年を取り巻く有害環境浄化活動を推進します。

## ③地域ぐるみの補導活動

少年サポートセンターや少年指導委員、学校等関係機関、地域住民と連携し、未成年者の飲酒・喫

煙や深夜はいかないなどの不良行為の早期発見、補導活動に努めます。

## ④各種相談の充実強化

少年や保護者からの相談に対応し、適切な対策が講じられるよう学校への出張相談室「あしたのルーム」の開設や電話相談コーナー「ヤングテレホン」により、少年や保護者が相談しやすい環境づくりを進めます。

## 薬物乱用対策マンガのご案内

内閣府では、薬物乱用対策マンガ「たった一度の過ち」をホームページ上で配信しています。ご覧ください。

<http://www8.cao.go.jp/souki/drug/comic/index.html>

内閣府ホームページ → 内閣府の政策 ▶ →

▶ 共生社会 → ▶ 薬物乱用対策



## 水や山の事故を防ぎましょう



## ○水難事故の防止

栃木県内では、平成二七年中に九人の方が水難事故に遭い、そのうち五人の方が亡くなっています。中でも七月から八月の時期には、三人の方が水難事故に遭い、そのうち二人の方が亡くなっています。

昨年の発生傾向を見ると水難事故発生時の行為別では、水遊び中が約四割、魚釣り中が約三割で、発生のお大半を占めています。場所別では、水難事故の九割が川で発生しています。



### ○山岳事故の防止

水の事故を防ぐため、次のことを守ってください。

- ・子どもの事故を防ぐため、保護者ができるだけ付き添い、目を離さないようにしてください。
- ・「遊泳禁止」の看板がある場所の近くでは、絶対に水に入らないでください。
- ・危険な場所で遊んでいる子どもを見かけたら、声を掛けてやめさせてください。
- ・胴付長靴で川に入った際に転倒すると、足が浮き上がってしまうためとても危険です。ウェットスーツやライフジャケットを着用してください。

栃木県内では、平成二十七年中に七〇人が遭難し、そのうち六人の方が亡くなっています。

中でも七月から八月の夏山シーズンで、遭難全体の二割の一四人が事故に遭いました。

昨年の発生傾向を見ると、遭難発生時の行為別では、登山中が七割以上で発生のお大半を占めています。原因別では滑落、道迷いがそれぞれ約三割、転倒が約二割を占めています。

山の事故を防ぐため、次のことを守ってください。

- ・登山ルート等を事前に調べ、各自の経験、技術、体力に応じた山を選び、無理のない日程で計画してください。
- ・登山計画書（日程、ルート、連絡先などを記載する。様式は自由）を警察や山岳会等に提出し、写しを家族に手渡すなどして万が一遭難した際に備えてください。
- ・単独登山は、怪我をした時に救助を求めることができない場合がありますので、できるだけ複数で登ってください。
- ・計画にゆとりを持ち、携帯電話や無線機などの通信手段をはじめ、十分な装備を携行して日暮れ前には下山してください。
- ・悪天候の場合は、無理をせずに登山を中止して引き返してください。

### 栃木県幼稚園連合会研修会時に 幼児安全対策講習会を実施



栃木県幼稚園連合会と警察本部・防犯協会では、去る六月二一日（火）二荒会館で行われた「設置者・園長 経営研修会」において、幼児の安全対策をテーマにしたミニ講習会を実施しました。

これは、同連合会の配慮により、園長先生の経営研修会の力りキュラムに防犯・交通の幼稚園安全対策を組み入れたものです。

ミニ講習会では、防犯協会高橋事務局長の趣旨説明の後、警察本部生活安全企画課の岩崎補佐、交通企画課の川永係長からそれぞれ、防犯、交通における子供達の安全対策について説明を行い園長先生をはじめ関係者の方々への協力依頼を行いました。

### 「花の日」 幼稚園児からプレゼント

六月七日（火）、宇都宮市の「さくらんぼ幼稚園」の園児と先生三名が栃木県防犯協会を訪れ、職員に対し花束のプレゼントがありました。

同園では、毎年「花の日」に日ごろお世話になっている人たちに花を贈り、感謝の気持ちを表すことにしており、この日の訪問となりました。当協会では、幼児誘拐防止係の樋口指導員が、心をこめて作った「折り紙メダル」をプレゼントしました。





平成二八年度  
栃木県防犯連絡協議会  
連合会定例理事会の開催



栃木県防犯連絡協議会連合会は、去る六月一〇(金)警察本部会議室にて、平成二八年度定例理事会を開催しました。

理事会では、五十嵐会長、警察本部の大垣生活安全部長のあいさつの後、役員改選が行われ、五十嵐会長らの再任が決定しました。続いて、生活安全企画課の鈴木課長補佐から「県内の治安情勢と地域安全活動の推進状況」について講話があり、特殊詐欺や自動車盗の実態など具体的な説明がありました。また、討議・意見交換では、防犯連絡協議会の運営課題について活発な意見交換が行われました。

【役員改選】

・会長 五十嵐 弘(再任)  
・副会長 峰 岸 正(新任)  
・副会長 鈴木 和 恵(再任)  
・副会長 永島 信 男(再任)

防犯協会女性部が特殊詐欺  
被害防止用寸劇を実施

栃木県防犯協会女性部では、去る六月二九日(水)宇都宮市下砥上町の老人福祉センターすこやか荘にて、特殊詐欺被害防止用寸劇を実施しました。

女性部では、近年多発する特殊詐欺被害防止対策の一環として広報寸劇を計画していましたが、このたび第一回目の寸劇披露となりました。

寸劇では、典型的なオレオレ詐欺を扱い、わかりやすい内容で集まった高齢者の人達へ注意点を訴えました。

会場からは「とても初めてとは思えない「ニューモラス」で楽しかった」と大好評でした。

今後機会をとらえ寸劇を続けていく方針です。

(問い合わせは、県防犯協会事務局まで)



地 区 防 だ よ り

広報誌「たかはら」を発行

矢板地区防犯協会では、矢板市・塩谷町において、犯罪のない明るく住みよい地域社会を作るため、様々な活動に取り組んでいます。

その中で当協会は、矢板警察署と共同で広報誌「たかはら」を年4回発行し、地域住民に対し、防犯や交通安全の啓発活動を行っております。



矢板地区防犯協会

「特殊詐欺撲滅の日」キャンペーン実施

那須烏山市防犯協会では、犯罪のない明るい社会の実現を目指して活動を実施しており、6月15日(水)には那須烏山警察署と合同で「特殊詐欺撲滅の日」キャンペーンを実施しました。

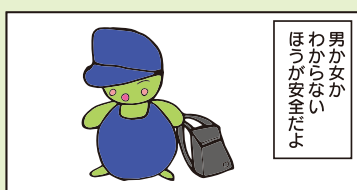
市内のスーパーマーケットを訪れた住民にチラシや防犯グッズを配布し、特殊詐欺等の被害防止を広報しました。



那須烏山市防犯協会

連載マンガ「カメ子ちゃん」

地味なのにして



木村晃代作